

『空気クリーン施設』むつ下北管内認定第1号

直接喫煙よりも身体に害がある受動喫煙を防止するため、対策を講じている公的機関等を認定し県民への啓発を図るべく、今年度より全県を対象に、健康あおもり推進隊『空気クリーン施設（受動喫煙防止対策実施施設）』推進事業が実施されております。

当診療所は、一年前より「患者（住民）さんの健康第一を考え、医療施設としてクリーンな環境づくりにより、清潔な施設を利用者に提供すること」を目的に、診療所内を全面禁煙とし、利用者が受動喫煙の害を受けないように取り組んでおるところであります。



適合証の交付を受ける大柳診療所長

この度、下北地方健康こどもセンター（むつ保健所）管内で受動喫煙防止対策実施施設第1号の認定を受け、去る十月八日（金）当所において、下北地方健康こどもセンター仁平将所長より大柳博樹診療所長に適合証が交付されました。

時代の要請もさることながら、地域住民をはじめとして喫煙者自身も受動喫煙の害を受けないよう、認定のこの機会を契機に、今後も啓発を図るなど積極的な取り組みを進めてまいりますので、皆様方のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

同志社創立者 新島 襄 寄港の地 記念碑「碑前祭」

十月七日（木）、本年で十三回目となる新島襄寄港の地記念碑「碑前祭」が海峽いさりび公園で行われました。

記念碑の前では、賛美歌、村民歌の演奏が行われ、横浜村長より挨拶があり、次に大谷同志社総長が記念碑に献花をし、続いて挨拶をしました。

最後に同志社カレッジソングの演奏が行われました。

同志社大学創立者の新島襄



あいさつする横浜村長



あいさつする大谷同志社総長



碑前祭に参加されたみなさん

先生は、江戸末期の一八六四年に国禁を犯して渡米を考へ、洋式帆船快風丸で江戸から函館に向かって航行中、シケを避けるため下風呂に寄港し二日間滞りました。下風呂温泉に入湯し、温泉の快さや下風呂温泉の様子などを「函館紀行」で紹介しています。

この碑前祭は、風間浦村と新島襄先生との歴史を偲ぶとともに、学校法人同志社との友好関係を深めるために、毎年行われているものです。

山岳遭難救助訓練

十月十三日、易国間林道八森山付近）において山岳遭難救助訓練が実施されました。

訓練には風間浦村消防団も参加し、山菜取りに出かけて遭難したという想定の下、捜索活動を行いました。

今回は風間浦村消防団が所属する捜索隊が遭難者を発見し、救出作業を行いました。

その後、風間浦消防分署員より山岳遭難において発生する怪我に対する応急処置についての講習が行われました。



救出作業の様子